

年頭のあいさつ



小城市議会 議長 中島 正之

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆さまにおかれましては、令和の時代の希望にあふれた新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろから議会活動に対し特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は全国各地で発生した集中豪雨や台風被害により日本経済に大きな影響を及ぼしました。小城市においても令和元年8月27日から28日にかけての集中豪雨により、家屋の浸水や道路の損壊、農業被害などの甚大な損害を被ったところであります。

このことは、私たちが、災害に対する備えの必要性を改めて痛感するとともに、一方では町内会関係者による独居高齢者の安否確認や市民団体のボランティア活動など、助け合い、支え合う『地域の力』の大切さを再認識することにもなりました。

小城市議会といたしましては、大臣、関係省庁及び佐賀県選出国會議員へ補助金の増額・補助枠の拡充、災害対策などについて要望活動を行い一定の成果をあげることができました。

また、小城市議会では、これまでに市議会だよりの発行、インターネットによるライブ中継やケーブルテレビによる議会放映、議員定数の削減等、議会改革に取り組んでまいりました。

これからも、『小城市議会基本条例』に掲げる理念のもと、開かれた議会をめざすとともに、市民の皆さまの声を十分聞きし、活発な議論を重ね、市民の皆さまが安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、市議会の改革・活性化に引き続き全力を尽くしてまいります。

結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸せで実り多く、飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつとさせていただきます。

市議会の再三の

要望実る

河川激特事業で418億円の予算

令和元年佐賀豪雨により流域周辺に大きな被害が出た六角川水系の治水対策で、おおむね5年間で集中的に取り組む、激特事業が採択されたことが12月末に発表されました。

小城市小城市町三里地区に約200万立方メートルの遊水地を新たに整備することや、河道の掘削や川幅を広げる引堤など総事業費は、418億円（国369億円、県49億円）です。

小城市議会は、これに先立ち、令和元年12月2日、国土交通省を訪れ、六角川水系での「河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）」の採択や牛津川遊水地計画の早期着手などを求める要望書を藤田耕三国交事務次官に直接手渡しました。

災害発生後に繰り返し国交省を訪れ、要望を行ってきたものです。



▲牛津川遊水地予定地付近冠水状況（小城市小城市町上右原地区）



▲河川激甚災害の採択を要望